



# 新☆びゃくか（白花）たより

3月度例会の様子

手打ちそばぐる〜ぶ

白 花

第 号： R 6. 3. 16

今年は雪解けも早いと思いきやまだ桜の開花便りが聞こえません



開花は20日前後の予想が出されていましたが、天候不順が続きこれも地球温暖化の影響なのでしょうね。

春は何といってもやっぱり桜ですよ。

最初に身近な話題で恐縮ですが、年明けの頃知人がコロナに感染した知らせが入り、以降約2ヶ月連絡が取れない日々が続いていたので、もしや重篤な状況ではと思いを巡らせていた4~5日前に生還していた事が分かり胸を撫で下ろしたところです。怖いですね。

例会当日、会場の宮の沢会館管理者の方が体調を崩されて、会館の開錠が少し遅れましたが例会は16名の出席者で何はともあれ無事開催出来ました。

先月の高橋進さんの指導の余韻が残るまま、各自が目標に向かって教わった水廻しから、思い出しながら丁寧を心掛けて鉢作業を進めますが、分かってはいるけどやっぱり高橋さんは遥か彼方です。

いよいよ来月に全麺協審査会初段位に挑戦するうえN・Pさんは制限時間のクリアは勿論ですが、一つ一つの動作を確認し合っただけの中身の濃い蕎麦打ちをされていました。

また、新しく入会されたkamayanさん・かなPさんは例会の雰囲気慣れてきた様で、お二人とも手先が器用な方なので、本人次第ですが上達は早いように思われます。

切れない蕎麦が打てる様に練習あるのみです。

教える方も真剣ですから頑張りましょう。

今月、特筆すべきはどりさんの切りがすごく綺麗だったことです。

又、先週土曜日9日には昨年ボランティアで伺った介護グループホーム「こころ居」の職員7名(子供1名)が、蕎麦打ち体験を希望されていたので会員6名が指導しました。

中には東南アジアからの研修生もいて、初めて触る蕎麦粉に興味津々で楽しい体験打ちに大満足されたようです。



